

滋賀県
自動運転に関するアンケート調査
結果報告書

令和7年3月

滋賀県

目次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
1 ご自身について.....	2
2 公共交通利用状況について.....	5
3 自動運転バスについて.....	7

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「滋賀地域交通ビジョン」の目指す姿である「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動ができる、持続可能な地域交通」を実現するための手段の一つとして検討を進めている自動運転について県民の皆さまへ意見等をお伺いし、滋賀県が進める自動運転バスの実証運行の取組に活かすことを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	パネル調査	QRコード調査
調査対象者	県内在住、関係者の方 (リサーチ会社のパネル登録者)	県内在住、関係者の方
調査期間	令和6年9月19日(木) ～9月20日(金)	令和6年9月11日(水) ～11月20日(水)
調査方法	WEB調査による本人回答方式	WEB調査による本人回答方式
有効回収数	546件	571件
	計1,117件	

3 報告書の見方

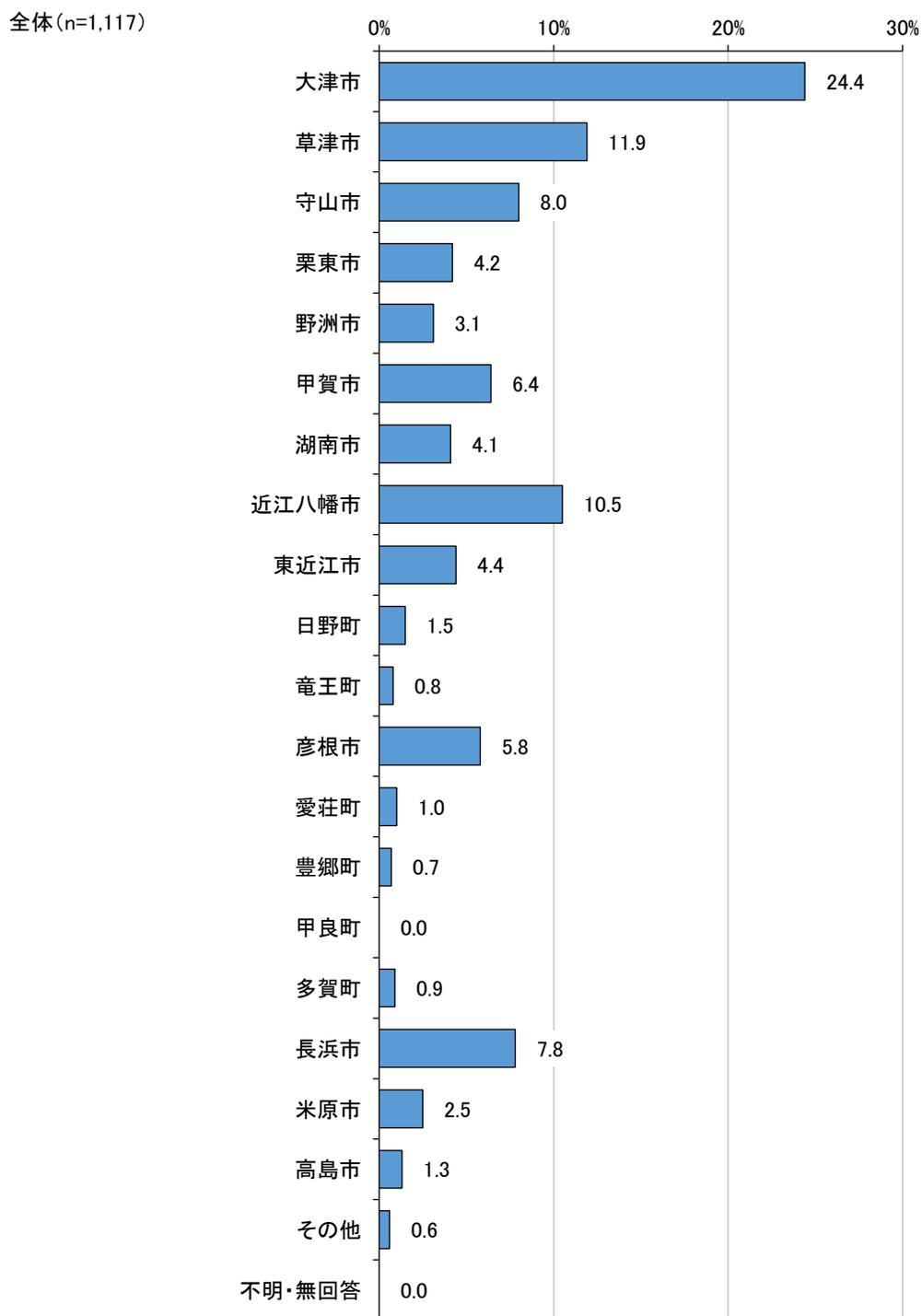
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの第1位と第2位に網掛けをしています。

Ⅱ アンケート調査結果

Ⅰ ご自身について

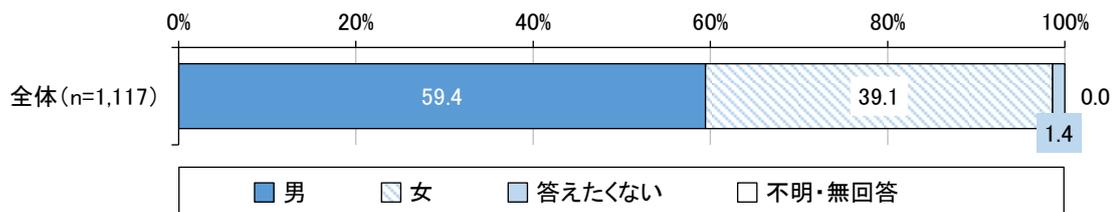
①あなたのお住まいの地域、県外にお住まいの方は通勤地・通学地を教えてください。(1つ選択)

「大津市」が24.4%と最も高く、次いで「草津市」が11.9%、「近江八幡市」が10.5%となっています。



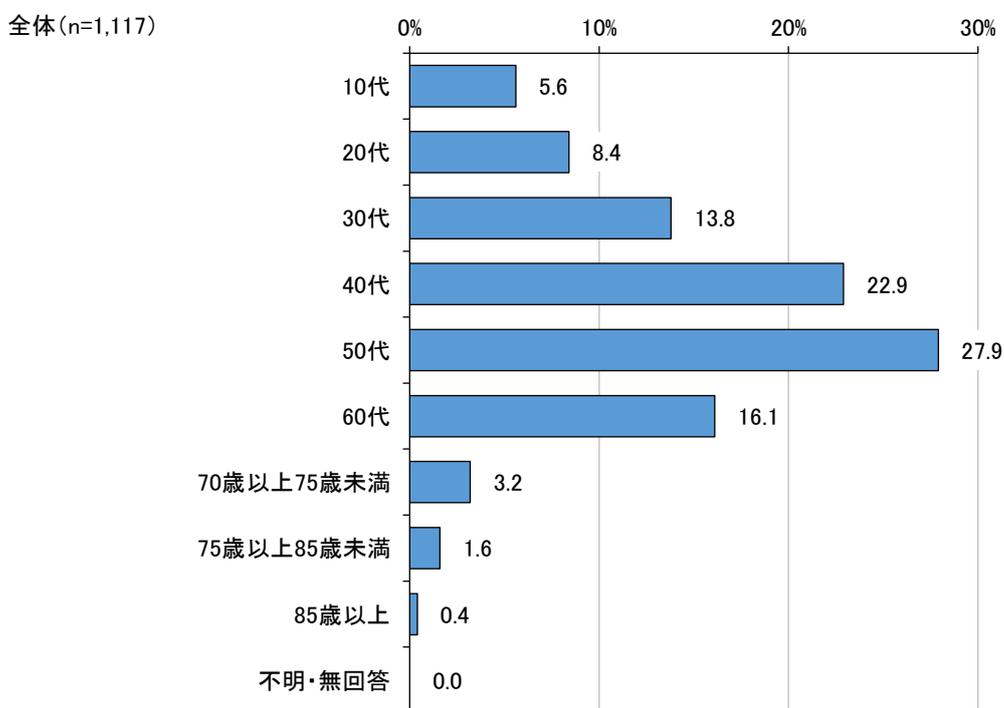
②あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

「男」が59.4%と最も高く、次いで「女」が39.1%、「答えたくない」が1.4%となっています。



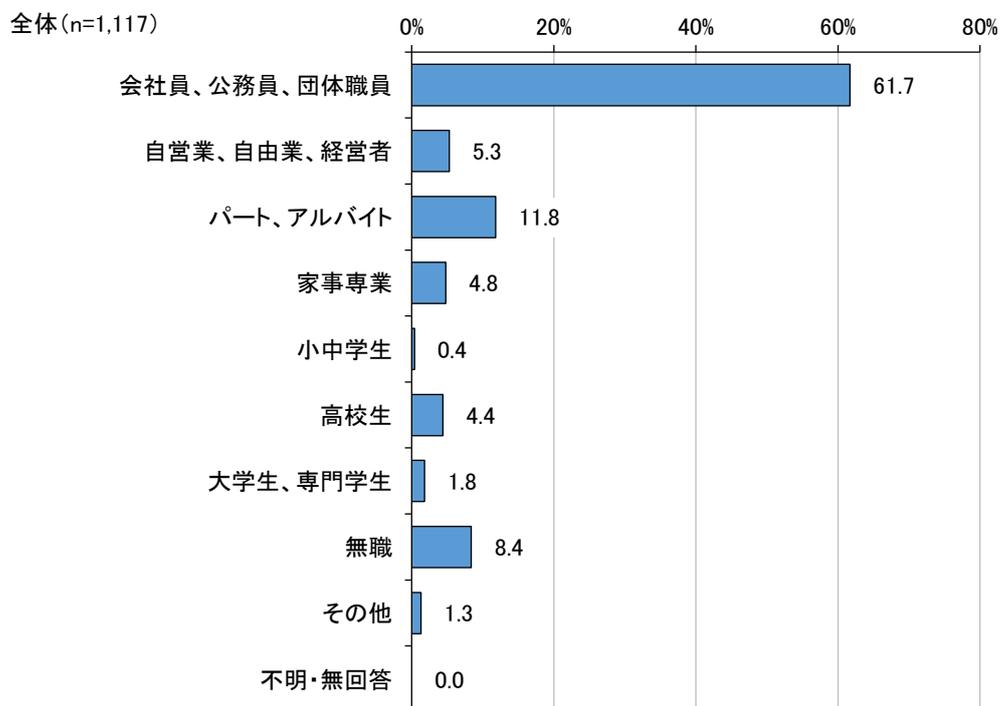
③あなたの年齢を教えてください。(1つ選択)

「50代」が27.9%と最も高く、次いで「40代」が22.9%、「60代」が16.1%となっています。



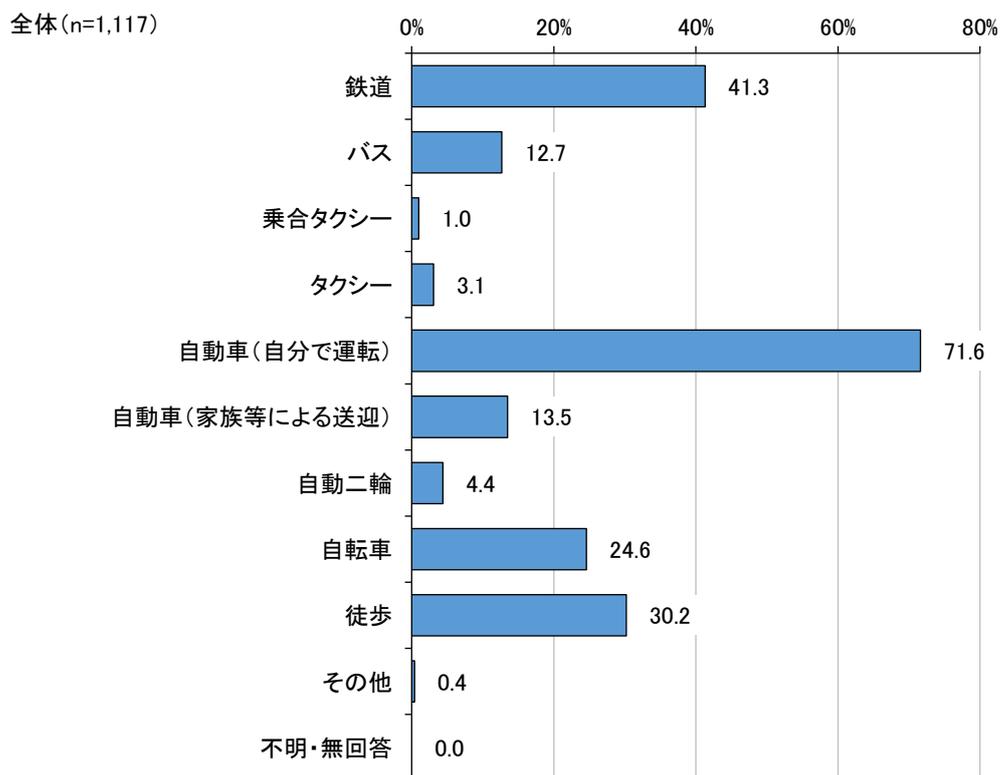
④あなたの職業を教えてください。(1つ選択)

「会社員、公務員、団体職員」が61.7%と最も高く、次いで「パート、アルバイト」が11.8%、「無職」が8.4%となっています。



⑤主に利用する移動手段を教えてください。(いくつでも)

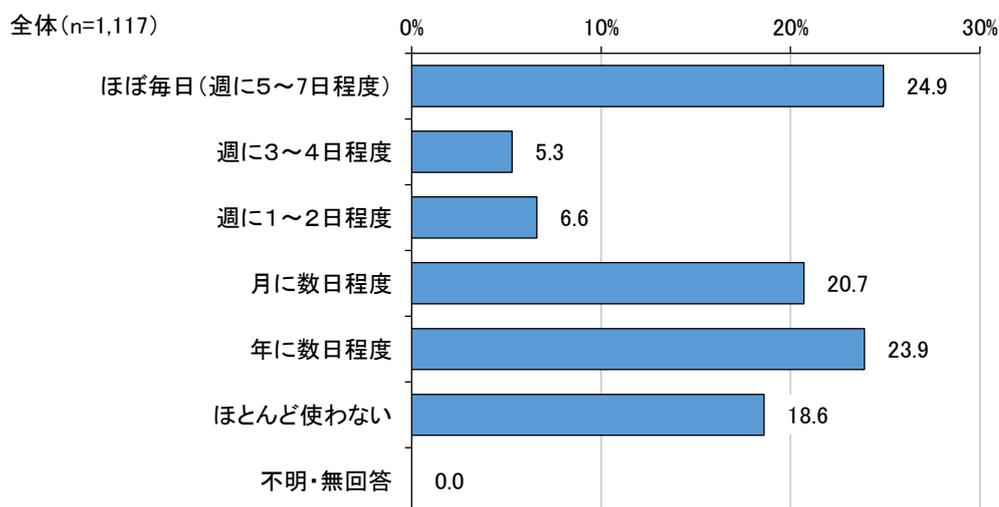
「自動車(自分で運転)」が71.6%と最も高く、次いで「鉄道」が41.3%、「徒歩」が30.2%となっています。



2 公共交通利用状況について

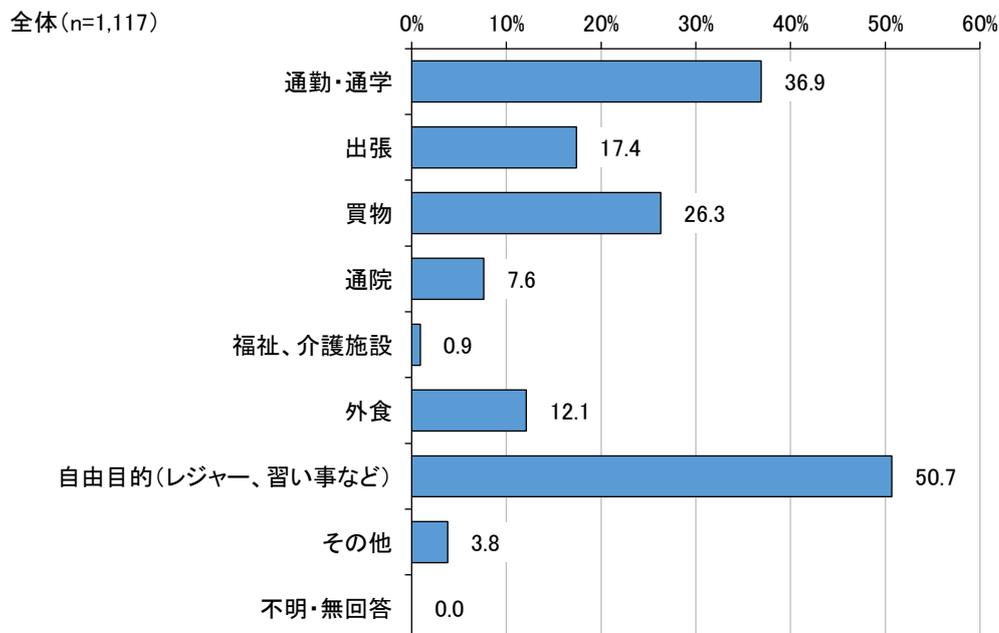
⑥どのくらいの頻度で公共交通を利用するか教えてください。※公共交通・・・電車、バス、乗合タクシー、タクシーなど運賃を払えば誰もが利用できる運送サービスを示します（1つ選択）

「ほぼ毎日（週に5～7日程度）」が24.9%と最も高く、次いで「年に数日程度」が23.9%、「月に数日程度」が20.7%となっています。



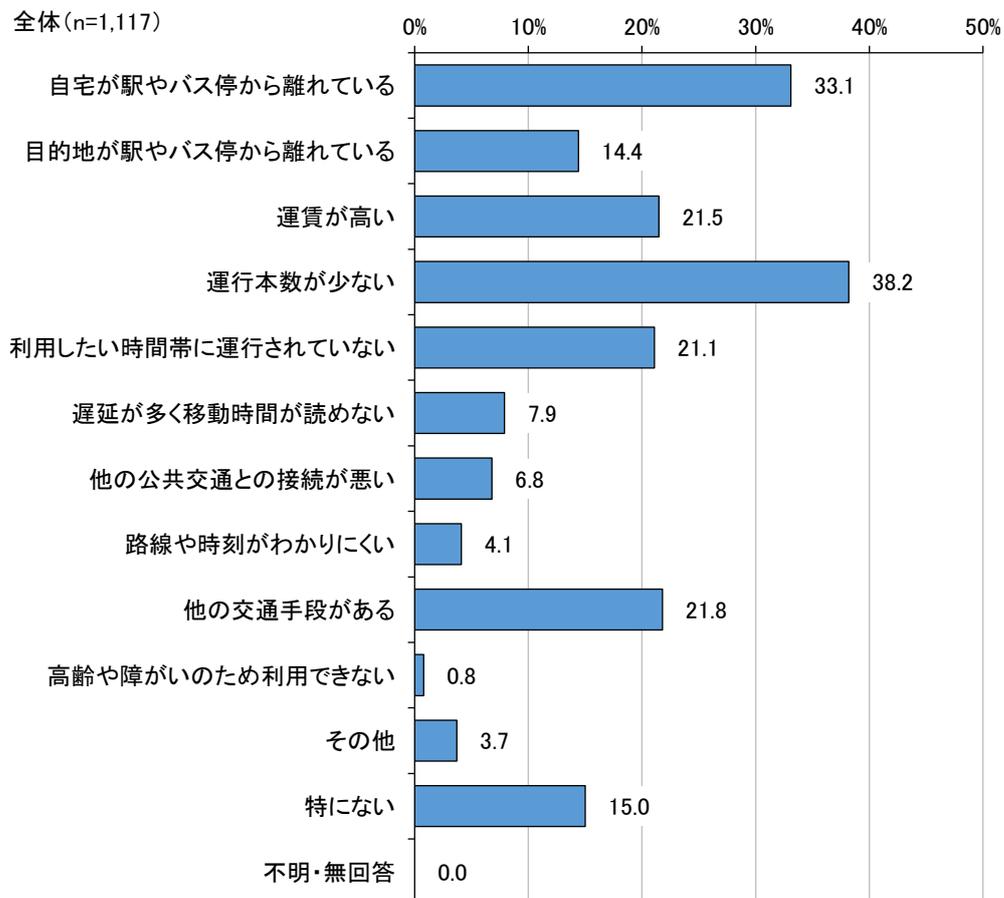
⑦公共交通を利用する際の主な目的を教えてください。（いくつでも）

「自由目的（レジャー、習い事など）」が50.7%と最も高く、次いで「通勤・通学」が36.9%、「買物」が26.3%となっています。



⑧公共交通を利用しない理由、または利用して感じるお困りごとはありますか。(3つまで)

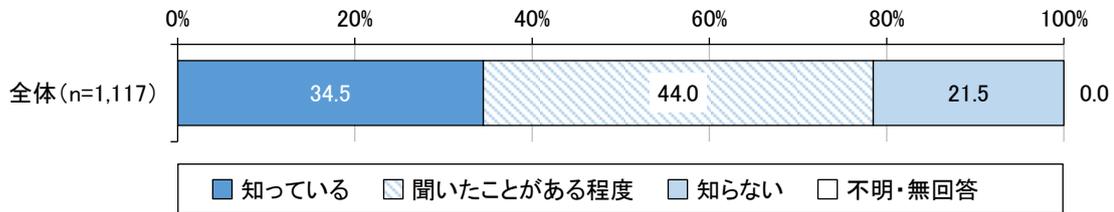
「運行本数が少ない」が38.2%と最も高く、次いで「自宅が駅やバス停から離れている」が33.1%、「他の交通手段がある」が21.8%となっています。



3 自動運転バスについて

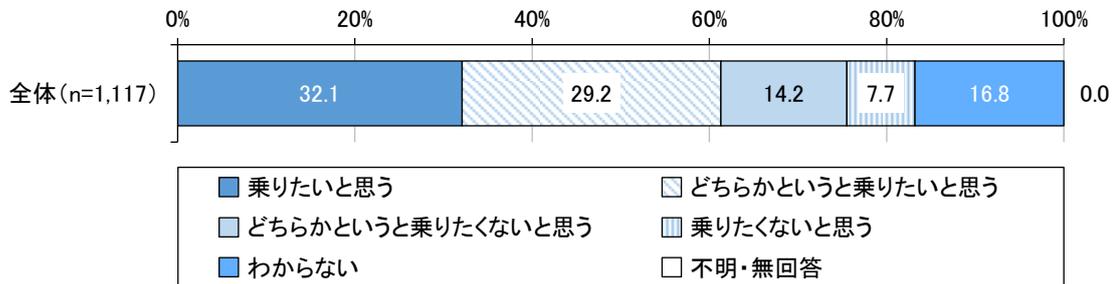
⑨自動運転バスを知っていますか。(1つ選択)

「聞いたことがある程度」が44.0%と最も高く、次いで「知っている」が34.5%、「知らない」が21.5%となっています。



⑩国では、公共交通を取り巻く課題に対応するため、2027年度までに全国で100か所以上で自動運転移動サービスを実現する目標を掲げ、普及に向けた取組が重ねられています。あなたのお住まいの地域で路線バスに自動運転バスが導入された場合、乗りたいと思いますか。(1つ選択)

「乗りたいと思う」が32.1%と最も高く、次いで「どちらかというに乗りたいと思う」が29.2%、「わからない」が16.8%となっています。



年齢別でみると、50代から60代、75歳以上85歳未満では「どちらかというに乗りたいと思う」、その他の年齢では「乗りたいと思う」が最も高くなっています。

利用頻度別でみると、〔月に数日程度〕〔年に数日程度〕では「どちらかというに乗りたいと思う」、〔ほとんど使わない〕では「わからない」、その他の項目では「乗りたいと思う」が最も高くなっています。

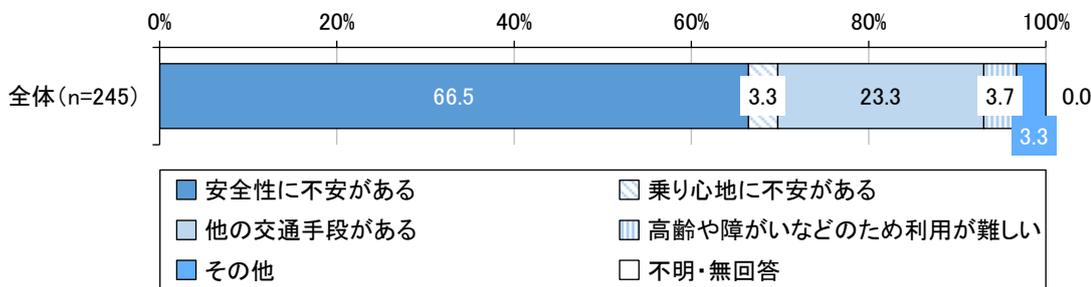
認知度別でみると、〔知っている〕では「乗りたいと思う」、〔聞いたことがある程度〕では「どちらかというに乗りたいと思う」、〔知らない〕では「わからない」が最も高くなっています。

単位：%		乗りたいと思う	りど ち たい ら か と 思 う と 乗	りど ち た く ら か い と 思 う と 乗	乗 り た く な い と 思 う	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,117)		32.1	29.2	14.2	7.7	16.8	0.0
年 齢	10代 (n=63)	38.1	25.4	3.2	7.9	25.4	0.0
	20代 (n=94)	34.0	33.0	10.6	7.4	14.9	0.0
	30代 (n=154)	32.5	29.9	13.0	7.1	17.5	0.0
	40代 (n=256)	34.8	24.6	15.2	7.0	18.4	0.0
	50代 (n=312)	29.5	30.8	16.0	7.4	16.3	0.0
	60代 (n=180)	28.9	31.7	16.1	7.8	15.6	0.0
	70歳以上75歳未満 (n=36)	33.3	22.2	16.7	19.4	8.3	0.0
	75歳以上85歳未満 (n=18)	33.3	44.4	16.7	0.0	5.6	0.0
85歳以上 (n=4)	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	
利 用 頻 度	ほぼ毎日(週に5~7日程度) (n=278)	44.6	28.8	9.7	6.5	10.4	0.0
	週に3~4日程度 (n=59)	49.2	25.4	11.9	3.4	10.2	0.0
	週に1~2日程度 (n=74)	41.9	27.0	8.1	5.4	17.6	0.0
	月に数日程度 (n=231)	32.5	32.9	12.1	6.9	15.6	0.0
	年に数日程度 (n=267)	24.3	33.7	17.6	6.0	18.4	0.0
	ほとんど使わない (n=208)	16.3	21.6	21.2	14.4	26.4	0.0
認 知 度	知っている (n=385)	45.7	27.3	10.9	4.4	11.7	0.0
	聞いたことがある程度 (n=492)	27.2	32.5	17.1	7.5	15.7	0.0
	知らない (n=240)	20.0	25.4	13.8	13.3	27.5	0.0

⑩で「どちらかというとも乗りたくないと思う」「乗りたくないと思う」と答えた方

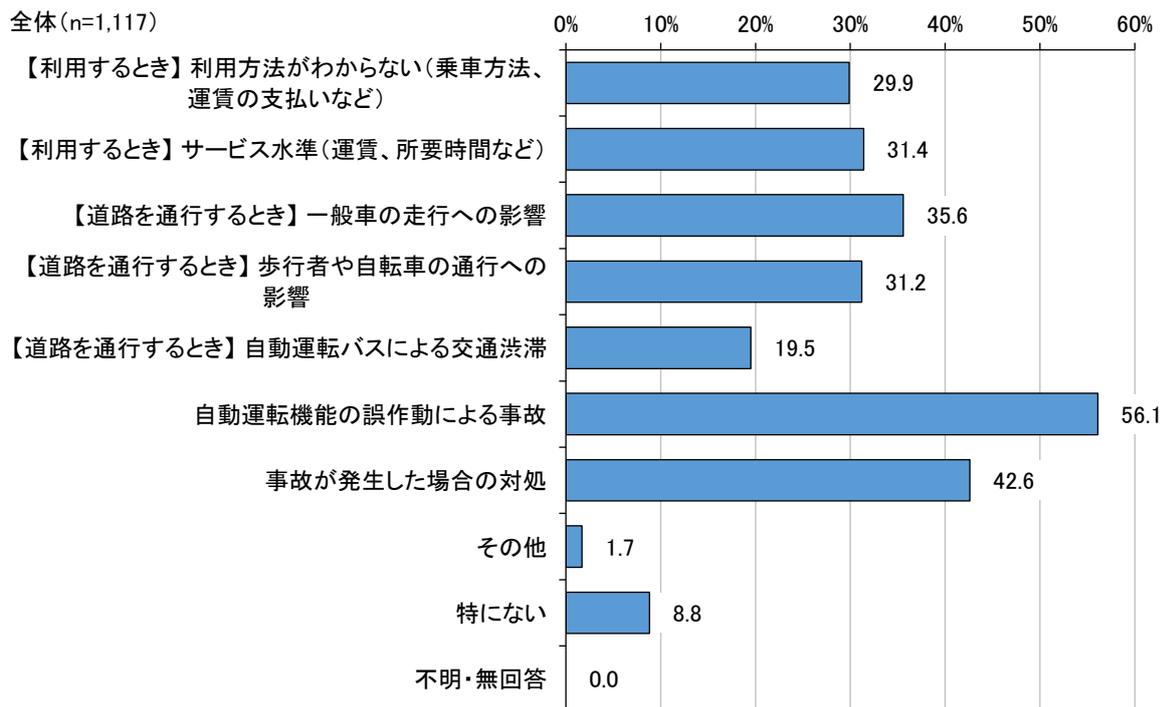
⑪その理由を教えてください。(1つ選択)

「安全性に不安がある」が66.5%と最も高く、次いで「他の交通手段がある」が23.3%、「高齢や障がいなどのため利用が難しい」が3.7%となっています。



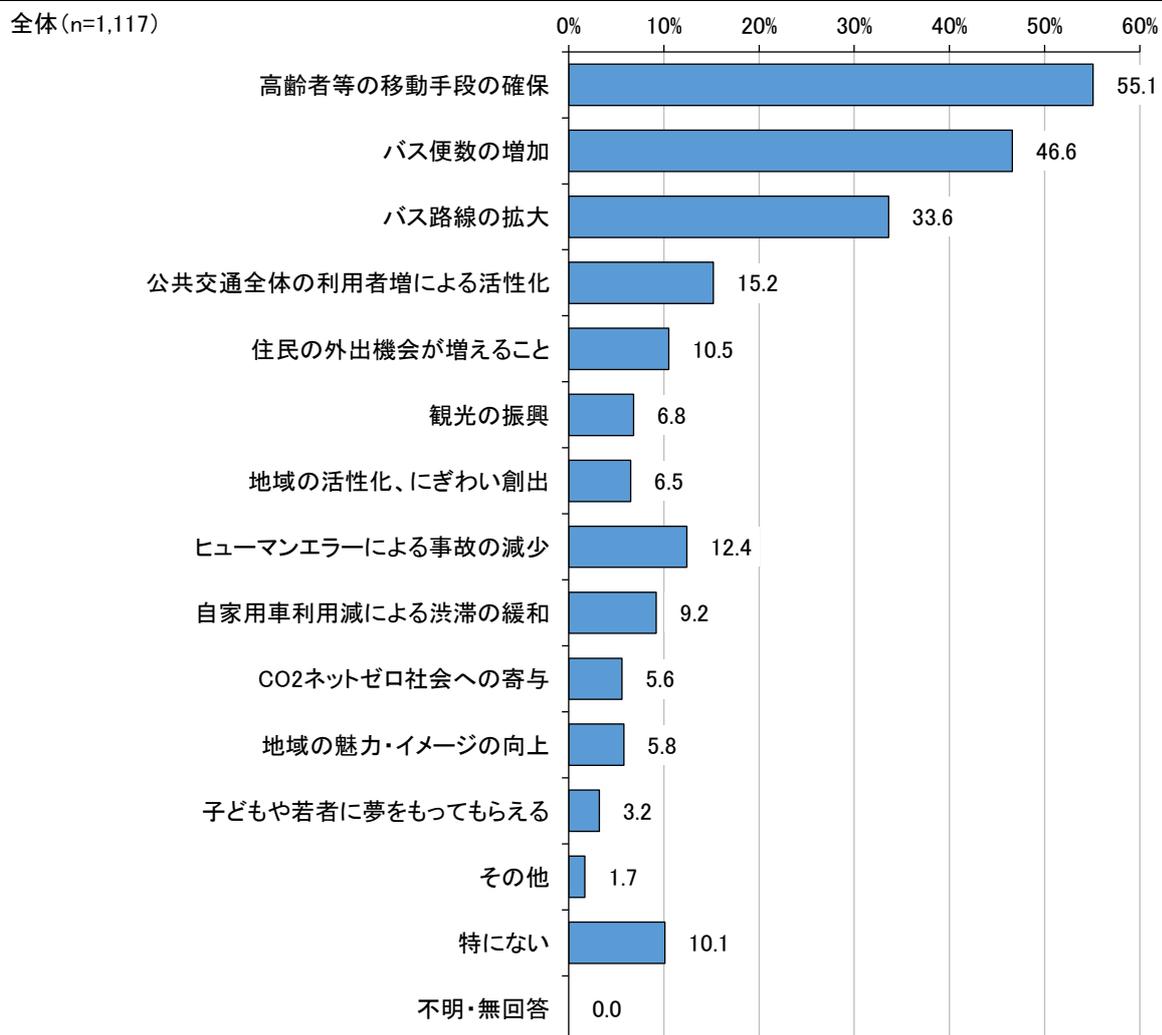
⑫あなたのお住まいの地域で自動運転バスが走行した場合、不安に感じることを教えてください。(いくつでも)

「自動運転機能の誤作動による事故」が56.1%と最も高く、次いで「事故が発生した場合の対処」が42.6%、「【道路を通行するとき】一般車の走行への影響」が35.6%となっています。



⑬あなたのお住まいの地域で自動運転バスが走行した場合、期待することを教えてください。
(3つまで)

「高齢者等の移動手段の確保」が55.1%と最も高く、次いで「バス便数の増加」が46.6%、「バス路線の拡大」が33.6%となっています。



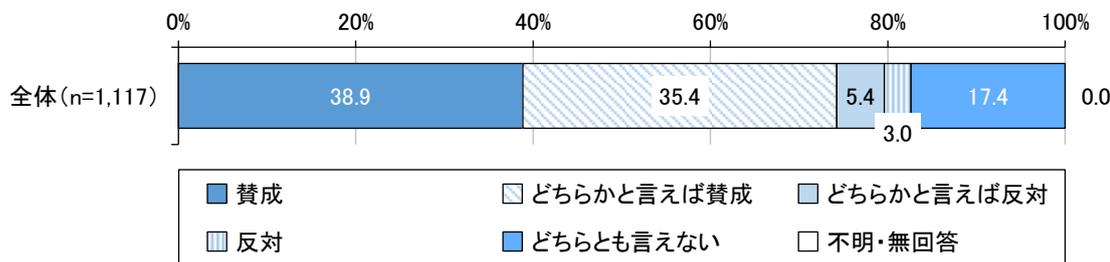
公共交通の課題点別でみると、「運行本数が少ない」〔利用したい時間帯に運行されていない〕では「バス便数の増加」、その他の項目では「高齢者等の移手段の確保」が最も高くなっています。

単位：%		の高 確保 者等 の移 動手 段	バス 便数 の増 加	バス 路 線 の 拡 大	者公 増共 に交 通全 体 活 性 化 の 利 用	え住 る民 こと の 外 出 機 会 が 増	観 光 の 振 興	わ地 い域 創の 出活 性 化 、 に ぎ	よ る 事 故 の 減 少 に
全体 (n=1,117)		55.1	46.6	33.6	15.2	10.5	6.8	6.5	12.4
公 共 交 通 の 課 題 点	自宅が駅やバス停から離れている (n=370)	62.7	51.6	41.1	18.4	10.0	5.9	4.6	13.5
	目的地が駅やバス停から離れている (n=161)	58.4	55.9	43.5	23.6	11.8	9.3	8.7	13.7
	運賃が高い (n=240)	53.8	47.9	33.8	14.2	11.7	6.3	5.8	15.0
	運行本数が少ない (n=427)	55.7	60.7	41.7	17.8	12.9	5.6	6.8	12.6
	利用したい時間帯に運行されていない (n=236)	61.0	64.4	45.8	19.1	14.0	5.1	7.6	13.1
	遅延が多く移動時間が読めない (n=88)	58.0	36.4	29.5	19.3	18.2	3.4	13.6	15.9
	他の公共交通との接続が悪い (n=76)	56.6	42.1	34.2	14.5	19.7	3.9	6.6	17.1
	路線や時刻がわかりにくい (n=46)	60.9	45.7	41.3	23.9	8.7	2.2	13.0	15.2
	他の交通手段がある (n=244)	66.0	41.4	27.0	13.9	11.1	6.6	5.7	13.5
	高齢や障がいのため利用できない (n=9)	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1
	その他 (n=41)	46.3	29.3	39.0	7.3	12.2	2.4	2.4	19.5
特にな (n=167)	44.9	30.5	22.2	10.8	4.2	9.6	6.0	10.2	

単位：%		る自 家 用 車 の 緩 和 に よ	会 C O 2 寄 与 の 減 少	ジ 地 域 の 魅 力 ・ イ メ ー ジ	も 子 ど も も や 若 者 に 夢 を	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,117)		9.2	5.6	5.8	3.2	1.7	10.1	0.0
公 共 交 通 の 課 題 点	自宅が駅やバス停から離れている (n=370)	8.4	4.9	5.1	3.0	2.4	7.0	0.0
	目的地が駅やバス停から離れている (n=161)	7.5	5.0	6.2	3.7	3.7	3.1	0.0
	運賃が高い (n=240)	14.2	7.5	5.4	3.3	0.8	8.8	0.0
	運行本数が少ない (n=427)	11.0	5.9	6.1	2.6	2.3	4.9	0.0
	利用したい時間帯に運行されていない (n=236)	10.6	5.1	5.9	3.4	2.1	3.0	0.0
	遅延が多く移動時間が読めない (n=88)	14.8	6.8	6.8	4.5	3.4	8.0	0.0
	他の公共交通との接続が悪い (n=76)	21.1	11.8	2.6	5.3	0.0	13.2	0.0
	路線や時刻がわかりにくい (n=46)	23.9	4.3	13.0	6.5	0.0	4.3	0.0
	他の交通手段がある (n=244)	9.8	6.6	9.0	4.5	0.8	7.8	0.0
	高齢や障がいのため利用できない (n=9)	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	33.3	0.0
	その他 (n=41)	14.6	2.4	9.8	7.3	9.8	9.8	0.0
特にな (n=167)	6.0	4.8	2.4	1.2	1.2	24.6	0.0	

⑭あなたのお住まいの地域での自動運転バスの普及に賛成ですか、反対ですか。（1つ選択）

「賛成」が38.9%と最も高く、次いで「どちらかと言えば賛成」が35.4%、「どちらとも言えない」が17.4%となっています。



利用頻度別でみると、[年に数日程度] [ほとんど使わない] では「どちらかと言えば賛成」、その他の項目では「賛成」が最も高くなっています。

不安なこと別でみると、[一般車の走行への影響] [歩行者や自転車の通行への影響] [自動運転バスによる交通渋滞] では「どちらかと言えば賛成」、その他の項目では「賛成」が最も高くなっています。

単位: %		賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	どちらとも言えない	不明・無回答
全体 (n=1,117)		38.9	35.4	5.4	3.0	17.4	0.0
利用頻度	ほぼ毎日(週に5~7日程度) (n=278)	50.0	31.3	6.5	1.4	10.8	0.0
	週に3~4日程度 (n=59)	47.5	39.0	6.8	0.0	6.8	0.0
	週に1~2日程度 (n=74)	52.7	24.3	6.8	0.0	16.2	0.0
	月に数日程度 (n=231)	39.0	36.8	3.0	3.9	17.3	0.0
	年に数日程度 (n=267)	34.8	43.1	3.4	1.5	17.2	0.0
	ほとんど使わない (n=208)	22.1	32.2	8.2	7.7	29.8	0.0
不安なこと	利用方法がわからない (乗車方法、運賃の支払いなど) (n=334)	41.6	36.5	3.3	0.9	17.7	0.0
	サービス水準 (運賃、所要時間など) (n=351)	43.0	35.9	4.8	0.6	15.7	0.0
	一般車の走行への影響 (n=398)	31.9	41.7	6.0	2.8	17.6	0.0
	歩行者や自転車の通行への影響 (n=348)	31.6	42.2	6.6	3.2	16.4	0.0
	自動運転バスによる交通渋滞 (n=218)	30.3	40.4	6.9	4.6	17.9	0.0
	自動運転機能の誤作動による事故 (n=627)	37.3	35.7	5.9	3.8	17.2	0.0
	事故が発生した場合の対処 (n=476)	38.4	36.8	5.7	3.8	15.3	0.0
	その他 (n=19)	31.6	26.3	15.8	5.3	21.1	0.0
特になし (n=98)	39.8	18.4	2.0	1.0	38.8	0.0	

期待すること別でみると、〔CO₂ネットゼロ社会への寄与〕〔地域の魅力・イメージの向上〕では「どちらかと言えば賛成」、〔特にない〕では「どちらとも言えない」、その他の項目では「賛成」が最も高くなっています。

単位：%		賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	どちらとも言えない	不明・無回答
全体 (n=1,117)		38.9	35.4	5.4	3.0	17.4	0.0
期待すること	高齢者等の移動手段の確保 (n=615)	45.2	39.3	3.1	1.1	11.2	0.0
	バス便数の増加 (n=520)	48.5	38.1	2.9	0.8	9.8	0.0
	バス路線の拡大 (n=375)	45.6	38.1	3.5	0.8	12.0	0.0
	公共交通全体の利用者増による活性化 (n=170)	52.9	33.5	0.6	1.8	11.2	0.0
	住民の外出機会が増えること (n=117)	53.8	31.6	1.7	1.7	11.1	0.0
	観光の振興 (n=76)	51.3	26.3	10.5	1.3	10.5	0.0
	地域の活性化、にぎわい創出 (n=73)	57.5	23.3	2.7	1.4	15.1	0.0
	ヒューマンエラーによる事故の減少 (n=139)	44.6	34.5	5.8	1.4	13.7	0.0
	自家用車利用減による渋滞の緩和 (n=103)	46.6	37.9	4.9	1.0	9.7	0.0
	CO ₂ ネットゼロ社会への寄与 (n=62)	30.6	40.3	3.2	1.6	24.2	0.0
	地域の魅力・イメージの向上 (n=65)	33.8	44.6	7.7	1.5	12.3	0.0
	子どもや若者に夢をもってもらえる (n=36)	52.8	30.6	2.8	2.8	11.1	0.0
	その他 (n=19)	42.1	15.8	15.8	5.3	21.1	0.0
特にない (n=113)	8.0	10.6	13.3	15.0	53.1	0.0	

負担のあり方別でみると、〔今後の利用可能性などから、利用者以外も含め地域全体で負担する〕では「賛成」、〔新たな費用が必要になるような先進的な取組は不要〕〔いずれとも言えない〕では「どちらとも言えない」、その他の項目では「どちらかと言えば賛成」が最も高くなっています。

単位：%		賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	どちらとも言えない	不明・無回答
全体	(n=1,117)	38.9	35.4	5.4	3.0	17.4	0.0
負担のあり方	利用者のみで負担する (n=216)	34.7	35.2	5.1	3.7	21.3	0.0
	今後の利用可能性などから、利用者以外も含め地域全体で負担する(n=488)	53.9	39.1	2.3	0.2	4.5	0.0
	既存の公共交通の縮小などにより必要経費を工面して先進的な取組を行う(n=156)	38.5	42.3	7.1	0.6	11.5	0.0
	新たな費用が必要になるような先進的な取組は不要(n=59)	13.6	22.0	18.6	16.9	28.8	0.0
	いずれとも言えない (n=181)	13.3	22.7	8.3	7.2	48.6	0.0
その他 (n=17)	29.4	47.1	5.9	0.0	17.6	0.0	

⑮公共交通の改善、利便性向上に向けて、自動運転バス導入など、先進的な取組を実施するには、新たに費用が必要になります。国の補助金等を活用した上で足りない場合に、その負担のあり方についてあなたのお考えに近いものを教えてください。(1つ選択)

「今後の利用可能性などから、利用者以外も含め地域全体で負担する」が43.7%と最も高く、次いで「利用者のみで負担する」が19.3%、「いずれとも言えない」が16.2%となっています。

